

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	群馬県	事業実施主体	群馬県、桐生市	地域再生計画名	「群馬県東毛地域における地域資源を活用した再生計画」
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	群馬県環境森林部長須藤雅紀、桐生市産業経済部長鎗木恵介		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度	H20～H24の平均	年度	中間実績	基準年度	H20～H24の平均			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	観光客数の増加	645万人	H20～H24の平均	664万人	H29	645万人	677万人	H31	△	H27：658万人、H28：686万人と市内各観光施設に訪れる人は増えている傾向であったが、H29実績は天候等の影響もあり前年に比べ減少傾向であった。現状では目標値を達成できるか不透明な状況である。
	指標2	森林整備面積の増加	512ha	H20～H24の平均	537ha	H29	311ha	563ha	H31	△	指標策定時の期間については、切り捨て間伐が主な作業であったが、現在は搬出間伐を主体とした作業形態に変化しており、林業成長産業化促進対策でもある経済効果の高い作業形態へ変化している。これに伴い、森林整備面積は減じている状況であり、現状では目標を下回る可能性がある。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	観光消費額の増加	61億円	H27の値	67億円	H29	67億円	67億円	H31	-	市道整備や観光誘客の事業推進を行った効果として、観光消費額が増となった。
	指標2	素材生産量の増加	33千m3	H27の値	43千m3	H29	43千m3	43千m3	H31	-	林道整備及びその他事業による効果として未開発地域へのアクセス改善が図られ、素材生産量が大幅増となった。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度（H29）	最終実績見込み						
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		2.1km	0.4km	1.7km	今回の整備により一昨年までのレジャー施設利用者に繋がったものと考えている。一方、さらに交流人口の増加を図るためには、レジャー施設の滞在時間の確保や温泉宿泊施設などの施設へのアクセス改善を図る必要がある。引き続き市道の整備を行う必要がある。					
	林道整備事業（整備延長）		2.0km	1.5km	0.5km	林道整備により、今まで森林施業が困難であった地域について森林へのアクセス改善が図られ、地域内の路網整備も充実するなど森林整備実績に大いに貢献しているが、目標延長は達成していない状況であり、引き続き事業実施を行いたい。全体整備量としては概ね計画どおりの進捗見込みである。					
その他の事業	水源地域等森林整備事業		H27～H29年度に対象面積245ha実施			地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず、放置されている条件不利な奥山放置森林や簡易水道等の上流に位置する水源地の森林を整備することで公益的機能の維持に寄与している。引き続き当事業を継続する評価とする。					
	林業作業道総合整備事業		H27～H29年度に作業道の開設を73.7km実施			間伐等の森林整備を進めるために、林道と併せ、作業道から葉脈路、架線作業道までのきめ細やかな路網の整備が不可欠であり、当事業を実施することで木材の搬出作業をより効果的に実施することができ、素材生産量の増加に繋がっているものと考えられる。引き続き当事業を継続する評価とする。					
	森林環境保全整備事業		H27～H29年度に林業専用道の開設を1.1km実施			森林の健全な育成及び森林生産力の増進のための森林整備を行うために、大型の林業用車両の走行を想定した林業専用道の開設を行い、森林整備の事業推進を促す。引き続き当事業を継続する評価とする。					
	きりゅうファンクラブを発足（桐生市）		会員数はH27が783人だったのに対しH29は1,108人と増加			観光客のリピーター化対策として、市外の方に新鮮な情報を提供し、何度も桐生に来てもらえるよう、また市内の方にはもつと桐生を知っていただけるよう設立された。入会された方には貴重なオリジナルグッズや各種情報など特典もあり誘客を促す。引き続き当事業を継続する評価とする。					
	みどり市観光ガイドの会補助事業（みどり市）		現在29名のメンバーが活動			予約いただいたお客様の希望にあわせて、地区毎に設定した「おすすめコース」をもとに案内。その他にも自主事業として「ガイドの会主催企画」を実施し、新たなコースの開拓やみどり市の観光PRにも努めている。引き続き当事業を継続する評価とする。					
計画外で独自に実施した事業	桐生八木節まつり県外でのPR活動（桐生市）		県外での上演により誘客を図る			桐生八木節まつりを全国的なまつりにするため、浅草において、八木節の上演と観光PRを4月と7月に2日間ずつ実施し、誘客を促す。引き続き当事業を継続する評価とする。					
	「桐生のココ好き」写真投稿事業（桐生市）		SNSを活用し、県内外からの誘客を図る			桐生の魅力を表現した写真を募集し、桐生観光協会Instagramおよびフェイスブックに掲載するなど、広く世界の人々に向けて発信する。作品の訴求力により「訪れてみたい」という思いをひき起こすことで観光誘客を図る。引き続き当事業を継続する評価とする。					
	草木湖まつり小夜戸・大畑花桃まつり（みどり市）		祭りを通じ、県内外からの誘客を図る			草木湖まつりは、草木ダムの完成に伴い、地域を離れた人々に、年に一度は故郷で過ごして欲しいとの願いを込めて、毎年8月15日に開催し、フィナーレに打ち上げる花火は好評で毎年多くの人々にぎわいます。小夜戸・大畑花桃まつりは、地元の方々が植樹を進めた約1,000本が咲き誇る花桃街道への積極的な誘客により、交流人口の増加による地域の活性化を図るため実施。引き続き当事業を継続する評価とする。					
	関東菊花大会（みどり市）		祭りを通じ、県内外からの誘客を図る			みどり市の伝統ある菊花の栽培・鑑賞を広く県内外に紹介し、産業と観光の振興を図るため、関東菊花大会を開催する。平成29年度で第60回開催となる。また、会場となるながめ公園周辺の紅葉スポットや博物館などを併せて紹介し、さらなる観光誘客の促進を図る。引き続き当事業を継続する評価とする。					
④評価方法	中間評価会を開催し、中間評価の実現状況に関する評価・検討等を行った。										
⑤中間評価の公表方法	群馬県林政課のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生道整備推進交付金を活用した市道と林道を一体的に整備し、観光客数の増加と森林整備面積の増加を指標値としてきたが中間年度では低調な値となった。観光客数については①のとおり年度毎のばらつきはあるが②に記すとおり観光消費額は増加している。また、森林整備面積については、作業形態の変化にともない①のとおり低調な値であるが②に記すとおり林業成長産業化対策の一環として搬出間伐を主体とした木材生産量は大幅な増となっており、評価会における総合評価としては、指標値については低調な値であるが、観光消費額や素材生産量の増加もあり事業効果は大きいという評価となった。										
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、事業の目的・必要性については、市道、林道とも目的と必要性は当初計画のとおりであり、引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進する。一方、さらなる観光客や森林整備面積の増を図るため、その他事業の推進や計画外での独自事業を一層強化していく方針である。										